

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	北海道	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	北海道文化遺産活用活性化計画		
4 実施計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>道教委は、北海道教育推進計画（平成25年3月改定）ですべての道民が、生涯を通じて、健やかに充実した生活を送ることができるよう、北海道らしい、特色のある生涯学習社会の実現の推進を目指しており、特に歴史的地域資産を保存・継承し、活用していく体制の確立を目指すため、次の取組を行う。</p> <p>■取組の概要</p> <p>(1) 北海道という地域性を考慮したヘリテージマネージメント人材育成のための制度設計および認定試験の実施とマネージメント資格者のネットワークの構築（平成26年4月～平成32年3月）</p> <p>(2) 歴史的地域資産の保存活用の検討と推進のための普及啓発事業（平成26年4月～平成32年3月）</p> <p>(3) 歴史的地域資産の現況および将来資産の調査（平成26年4月～平成32年3月）</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。</p> <p>北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課：本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>北海道文化遺産活用活性化実行委員会（会長：角 幸博）</p> <p>構成団体 北海道文化財保護協会、(社)北海道建築士会、NPO法人 歴史的地域資産研究機構</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 24,520 千円	平成29年度申請額： 5,605 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>1 文化遺産及び歴史的地域資産に関する地域の現状の把握。</p> <p>2 時間の経過とともに、将来、資産価値が高まるもの（将来資産）の把握。</p> <p>3 上記の取組による、北海道における文化遺産および歴史的地域資産のデータベースの構築。</p> <p>4 データベース活用による、保存活用の取組の活発化。</p> <p>5 北海道内でまだ未成熟なヘリテージマネージメントに関わる人材の育成により、文化遺産及び歴史的地域資産の価値評価や保存活用方針、方策に直接関わる人材の裾野を広げることが可能となり、さらに有資格者のネットワーク構築により、広域である北海道の地域資産の保存活用や次世代への継承に、官民一体となる力を発揮することができる。</p> <p>6 一連の取組により、道民の文化遺産や歴史的地域資産に対する関心や意識の高まりが期待できるとともに、歴史的地域資産の保存・継承が進む。</p> <p>7 官民連携による保存活用の取組体制を構築することができる。</p> <p>8 文化財の普及啓発の実践者を拡大する体制を構築することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
未策定			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）					
具体的な指標 1 :	ヘリテージ専門職育成講座の修了者を活用した文化遺産の普及啓発事業数			関連事業 :	(1) ヘリテージマネジメント人材育成 (2) 歴史的・地域資産の保存活用検討と推進のための普及啓発事業 (3) 歴史的・地域資産の現況及び将来資産の調査	
目標値 1 :	平成 28 年度		4 件	⇒	平成 31 年度 30 件	
設定根拠 1 :	ヘリテージ専門職育成講座修了者の20%が普及啓発事業を年1回行うと設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
件	件	件	件	件	件	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	ヘリテージ専門育成講座及びフォローアップ事業	実施団体:	北海道文化遺産活用活性化実行委員会			
事業区分:	人材育成	事業期間:	平成 26 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要:	ヘリテージマネージャー認定講習の実施 講座修了者対象のフォローアップ研修会の開催					
評価指標区分:	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者の後年度活動者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	毎年10名程度の受講生が、受講後活躍出来る人材を育てて、今後の地域活動で実践してもらうよう指導する。					
目標値:	平成 28 年度 100 人		⇒		平成 31 年度 220 人	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業②:	大人・高校生・小中学生を対象にした歴史資産等を活用した普及啓発事業	実施団体:	北海道文化遺産活用活性化実行委員会			
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 26 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要:	歴史的地域資産の保存活用の検討と推進のための普及啓発事業 ・地域の人から地域の人へと引き継がれる普及啓発活動を行う。 ・地域住民や企業、行政との協働による歴史的地域資産の保存活用の支援体制を追求し、ヘリテージ専門講座登録者も巻き込んだ普及啓発事業を次のとおり展開する。 羽幌町の博物館（旧裁判所）の保存に向けての取り組みと併せて、道北地域の住民を対象にした普及啓発事業を展開する。 ・道民を対象とした歴史資産活用講座を開催する。 ・歴史的資産を活用した高校生向けの取り組みを展開する。 ・考古学（化石）めぐり事業を次のとおり実施する。 道央地域中心に、北空知又は旭川の地域の考古学の先生方の協力を得て、夏休み期間中、小学生とその親を参加対象として実施する。					
評価指標区分:	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	事業実施地域における、文化施設（博物館等）の利用者数の増加、及び実施事業の充実					
目標値:	平成 28 年度 40 名		⇒		平成 31 年度 100 名	
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
名	名	名	名	名	名	
事業③:	北海道における歴史的建物及び歴史的営み調査事業	実施団体:	北海道文化遺産活用活性化実行委員会			
事業区分:	調査研究	事業期間:	平成 26 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要:	1. 平成26年度から行っている調査により集められた、およそ7,000件の歴史的建造物のデータについて、現地調査等を行い、分析や検証整理を行う。 2. 聖徳太子講について調査を行う。					
評価指標区分:	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標:	(具体的な指標を記載してください。)					
目標値:	平成 年度	(単位)			⇒	平成 31 年度 (単位)
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	